



編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24

TEL 099-285-3012 E-mail: gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp https://www.kagoshima-u.ac.jp/atsuhime/

■ご挨拶 男女共同参画推進室長 島 秀典 (総務担当理事・副学長)

鹿児島大学は、2009年に男女共同参画推進室を設置して以来、学長のリーダーシップの下、男女共同参画推進に取り組んでまいりました。

2010年には、「鹿児島大学男女共同参画基本理念」に基づき「鹿児島大学男女共同参画行動計画」を策定、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」(2011~2013年度:総合評価A)を機に、若手・女性研究者支援を柱に、ライフイベント期の離職のない職場、個性と能力を存分に発揮しキャリアを継続することができる環境整備を目指して取り組んできたところです。そして、この10月には、念願だった2つめの学内保育施設を、本部事務局がある郡元キャンパスに開園しました。

本学は、今後も、一人ひとりが伸びやかに、自分らしく輝くために、ダイバーシティ研究環境の実現、若手・女性研究者支援、さらには次世代育成につながるよう男女共同参画の取組を積極的に推進して参ります。今後とも本学の男女共同参画推進の取組へのご理解とご支援の程よろしくお願いたします。



■鹿児島大学「さつつん保育園」開園

鹿児島大学は、平成29年度に採択された内閣府企業主導型保育事業を活用し、平成30年10月1日に、学内2つめとなる保育施設「さつつん保育園」を開園しました。9月25日の開園式で、前田芳實学長から「職員の就業環境整備の一つとして、子育て中の教職員のキャリア継続の支援が必要であり、子育てと仕事を両立しながら一層研究や教育に取り組んでほしい。」「子ども達が元気いっぱい健やかに育ってほしい。」「学生にとっても、将来のビジョンを描く際の一助になるのではないか」との挨拶がありました。

その後、前田学長、島理事・副学長(総務担当)、宮田理事・副学長(財務担当)、橋口副学長(男女共同参画推進担当)委託事業所代表によるテープカットが行われ、大学マスコックラクター「さつつん」も登場し開園を祝いました。



委託事業所代表 橋口副学長 島理事 前田学長 宮田理事 さつつん

10月1日の入園式では、園長の島理事・副学長の挨拶に続き、園児紹介と保育士との対面式がありました。初対面の人との関わりに緊張していた子ども達に、保育士によるパネルシアター等が披露されたほか、「さつつん」との交流もあり、和やかなひとときとなりました。木のぬくもりある園舎や子どもの様子に、保護者からは「安心して預けることができる」との声が聞かれました。

さつつん保育園は、生後8週間から就学前までの乳幼児を対象とし、病後児保育も実施します。また、自園調理では給食だけでなくおやつも作られ、食育にも力を入れることになっています。



■取組紹介

学長と研究者との懇談会

学長と各学系から推薦された研究者との懇談会を「鹿児島大学における研究の国際化」をテーマに9月19日に開催しました。はじめに、前田学長から、本学の第3期中期目標・中期計画におけるグローバル地域人材育成強化や鹿児島大学国際化基本方針等の説明がなされ、参加者に対し、多様な意見を出してほしいとの挨拶がありました。

参加者からは、留学や国際学会参加時の若手研究者や大学院生への支援、英語コミュニケーションスキルアップ支援、研究への専念制度等の要望や意見が出されました。また、留学生受け入れにより、学生や教員の日常的な英語コミュニケーションスキルがアップしているなどの好事例の情報提供等もありました。

懇談会で出された意見等は、関係センターや担当部署等と情報共有を図り、今後の本学の取組に反映させることとしています。



■イクボスインタビュー 岩井 久 農学部長

鹿児島大学は、管理職全員による「イクボス宣言」により、個々の状況に応じたライフとワークの充実を図ることができるような意識作りを行っています。今回は、農学部長の岩井先生にインタビューしました。



Q1 イクボス宣言をして変わったこと

最初は、やや無理をして早めに帰るよう努め、仕事の段取りでの工夫を重ねた結果週末の休憩時間ができ、以前より体調が良くなったように思えます。かつて自分に課していた運営上の業務には、改善可能な無駄な動きがあったということだと思います。

Q2 学部運営上、教職員のワーク・ライフ・バランス（以下WLB）のために工夫していること

会議は、余程の事がない限り、5時半以降まで行わないようにしています。また、学部に相談室を設け、男女共同参画推進委員などへの意見を出したり、学生や教員等が相談しやすい環境をつくりました。それから、女性研究者との昼食会を開催しています。ここ数年で人数が増え、多様な分野の話題で盛りあ

がります。地域連携や地域活性化につながる農学部の役割や意義などについての話題などは、学部マネジメントの参考になることが多いですよ。それに、研究食材を使った商品の紹介や実験中のエピソードなども披露されることもあり教員同士のよい関係作りになっているとも思います。



昼食会の様子

Q3 自分のWLBのために工夫していること

3ヶ月ほど前から、毎日、宵の口に妻とウォーキングを励行中です。自分のメタボ改善のためでしたが、その時間を確保するために仕事を早く切り上げるよう心掛けました。また、就寝も早くするよう心掛け、気になる仕事は翌朝行うようにしたところ、体調がすこぶるよいです。それと、土曜の夜の焼酎ロックと映画やJAZZの鑑賞がリラックスの時間です。

Q4 イクボスからのメッセージ

管理職の方は、無理にでも早めに仕事を切り上げるように心掛けた方がよいように思います。部下や学生の中には、「早く帰りたいけど、上司や先生がいると帰りづらい」と思っている人がいるかもしれません。

■取組紹介

ランチタイム交流会（museカフェ）

教職員や大学院生等を対象に、キャリア形成等に係る情報提供やメンターとの交流機会として定期的で開催しています。

9月は、モニカ・ハムチック准教授（共通教育センター）によるミニレクチャー「英語での会話を楽しむために」がありました。英語でのコミュニケーション能力アップのための具体的な取組方法等の紹介や参加者の悩みへのアドバイスがあり、教員同士のネットワーク構築にもつながりました。

10月は、加藤早苗准教授（水産学部）に、「ライフイベントと研究者生活」と題して、水産学部下荒田キャンパスでお話いただきました。大学院生から「もしライフイベントがあってもストレスをためないようにし仕事も継続していきたい」「人との出会いを積極的に作り、研究者キャリアにつなげたい」などの感想がありました。



研究支援員制度

ライフイベント期の研究者に研究支援員（大学院生等）を配置し、研究との両立を支援しています。

前期（5～9月）は、16人（うち男性2人）、後期（10～3月）は、20人（うち男性4人）が利用しています。

★前期利用研究者の報告書より

制度利用後は、家庭の時間を確保しつつ、研究支援員の従事により研究ペースを以前に戻すように利用し、今年度からの科研費採択につながった。

スキルアップセミナー

英語プレゼンテーションセミナーを、リンクサイエンス代表川上倫子氏を講師に迎え、グローバルセンター、URAセンターと共催で、9月28日（金）に実施しました。参加した大学院生からは、「国際学会等でのプレゼン力を向上させるだけでなく、日本語でのプレゼンにも有用であった」、教員からは「困った場面への対処法について、具体的にいくつも提供されたのですぐに役立つ」との感想がありました。

■第10回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 宮崎

「九州・沖縄（ここ）から拓くダイバーシティの新たな地平」のテーマのもと宮崎大学で、9月14日に開催されました。1部は、藤井良一氏（大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 機構長）基調講演等があり、九州・沖縄女性研究者支援ネットワーク（Q-wea）の参加機関の理事・副学長による2部パネルディスカッション「女性研究者支援これまでの10年、これからの10年」に、本学からは、橋口知副学長（男女共同参画推進担当）が登壇しました。藤井氏のコーディネートにより、参加の理事・副学長等から、取組や成果等の紹介、10年という節目での女性研究者支援の評価や今後の取組のあり方等についての意見や提案等が出されました。最後に、宮崎大学から「Women Support 九州・沖縄宣言」を制定することの提案と琉球大学から大分大学へのQ-wea事務局の引き継ぎ式が行われました。

シンポジウム前には、実務担当者会やQ-wea理事・副学長ネットワーク会議も開催され更なる連携につながりました。



■JST女子中高生の理系進路選択支援プログラム「かごしま☆科学のタネまき塾☆～育て！未来の理系女子～」

実施担当部局の理学部と農学部、水産学部の協働により、8月に進路相談会、9月に理系親子見学会が開催されました。また、12月に、高校生対象の「科学体験塾」と中学生対象の「科学体験塾サテライト」を開催します。当センターが担当の理系分野で活躍するロールモデルを紹介する広報紙は、12月と3月に発行予定です。

取組の詳細は、本学HPでご確認ください。⇒ <https://www.kagoshima-u.ac.jp/science-girl/>

Information

*「鹿児島県女性活躍推進優良企業知事表彰」の平成30年度は本学の受賞が決定しました。

*男女共同参画推進センターホームページをリニューアルしました。

<今後の予定>

鹿児島県女性活躍推進フォーラム	11月21日
*鹿児島県女性活躍推進優良企業知事表彰	
女性リーダー育成セミナー	11月26日
介護支援セミナー	12月13日
ワーク・ライフ・バランス支援セミナー	12月21日